

挑戦、その先へ。

T&D保険グループ

2026年4月3日

各位

株式会社 T & D ホールディングス
代表取締役社長 森山 昌彦
(コード番号：8795 東証プライム)

グループ長期ビジョン「Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～」の策定について

T & D 保険グループの株式会社 T & D ホールディングスは、2026 年度を始期とするグループ長期ビジョン「Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、生命保険事業を中核として、「Try & Discover（挑戦と発見）による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。」というグループ経営理念のもと、「挑戦と発見」というグループ組成以来の精神を大切に、サステナビリティ経営に取り組んでおります。

今後、少子高齢化や労働人口の減少といったメガトレンドにより、市場の長期的な縮小が見込まれる中においても、これまで培ってきた多様な資本をグループ一体となって活用し、持続的な成長に向けて変革を実現していくことが不可欠であると考えております。



こうした認識のもと、グループ経営ビジョンを見直すとともに、その実現に向けて、「Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～」では、「コアビジネスの一層の強化」「新たな価値創出による成長の実現」「グループの強靱化」の3つの基本方針を掲げております。これらの取組みを通じ、グループ各社がそれぞれの市場において強みを最大限に発揮しながら、グループとしてのシナジーを高め、企業価値の最大化を目指してまいります。

グループ長期ビジョン「Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～」の詳細につきましては、次頁以降をご覧ください。

以上

【お問合せ先】株式会社 T & D ホールディングス 広報課 (tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp)

T&D T&Dホールディングス

 太陽生命 大同生命 T&Dフィナンシャル生命 ペット&ファミリー
損害保険株式会社 All Right T&D ユナイテッドキャピタル T&Dアセットマネジメント TDIMNA T&D情報システム

TRY&DISCOVER

グループ長期ビジョン

Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～

<計画期間 2026年度～2030年度>

TRY&DISCOVER

2026年4月
株式会社 T&Dホールディングス

Copyright T&D Holdings, Inc. All Rights Reserved.

新グループ長期ビジョン「Try & Discover 2030 ～挑戦、その先へ～」への想い

経営理念（当グループの存在意義）

『Try & Discover（挑戦と発見）による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。』

私たちのグループ経営理念は、**挑戦と発見というグループ組成以来の精神**を大切にしながら、価値創造を通じて社会の公器として人と社会に貢献し続けるという、当グループの**サステナビリティ経営そのもの**を示すものです。

環境認識と対応の方向性

少子高齢化・労働人口の減少などのメガトレンドにより、超長期的に縮小していく市場で勝ち残るには、**グループが一体**となり、効率的で生産性の高い組織へ変革しなければなりません。

そのうえで、**生命保険事業をコア**としながらも、2030年のその先に向けた持続的成長の礎を構築するため、社会課題の多様化を機会と捉えて**新たな事業領域にも挑戦**することで、グループを次の成長ステージに引き上げていきます。

経営ビジョンの見直し

“保険を通じて、ひとりから世の中の中のしあわせをつくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ”

当社グループの存在意義（経営理念）や環境認識などを踏まえ現行ビジョンの思いを受け継ぎつつ、目指す姿をより明確化

“**Try & Discover**”を、**ひとつの力に。ひとりの安心から、社会の成長へ。**”

グループの精神

グループ一体経営

生保事業をコアに
周辺サービスまで
提供価値を拡大

サステナビリティ経営

普遍的な経営理念

環境変化への対応

経営ビジョンの見直し

「Try & Discover 2030」の位置づけ | 新たな成長ステージへ

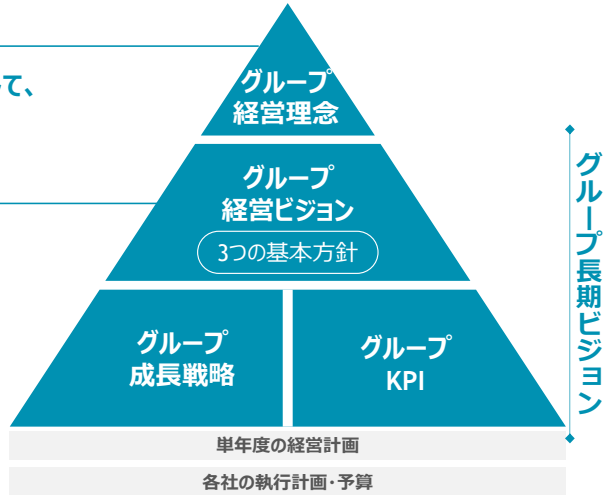
- 前グループ長期ビジョンでの成果(資本効率改善等)を土台に、経営理念と環境認識も踏まえた新たな成長ステージへ踏み出す
- 次の5年で目指す姿として、「グループ経営ビジョン」を変更
- 「グループ経営ビジョン」と、その実現に向けた3つの基本方針を基に策定した「グループ成長戦略」と「グループKPI」を総称して、グループ長期ビジョンとする

グループ経営理念(存在意義)

Try & Discover (挑戦と発見) による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

経営ビジョン(2030年に目指すグループ像・方向性)

“Try & Discover”を、ひとつの力に。
ひとりの安心から、社会の成長へ。



グループ経営ビジョン | 実現に向けた3つの基本方針

- 3つの基本方針に基づき、コアビジネスの収益力強化を土台に、その成果を新たな成長に振り向け、それを支える経営基盤を強化することで、持続的な企業価値の向上を実現

グループ経営ビジョン

“Try & Discover”を、

ひとつの力に。

ひとりの安心から、

社会の成長へ。

基本方針 1 コアビジネスの一層の強化 (安定的な利益成長の実現)

- 「金利ある世界」で保有契約拡大を通じた順ざや拡大に向けて、国内生命保険事業の営業力と運用力を一層強化する。
- 加えて、マーケット特化戦略の強みを活かし、社会課題の解決に資する商品・サービスの提供を通じて、将来の事業機会の拡大に向けて強固な顧客基盤を構築する。

基本方針 2 新たな価値創出による成長の実現 (戦略的成長投資)

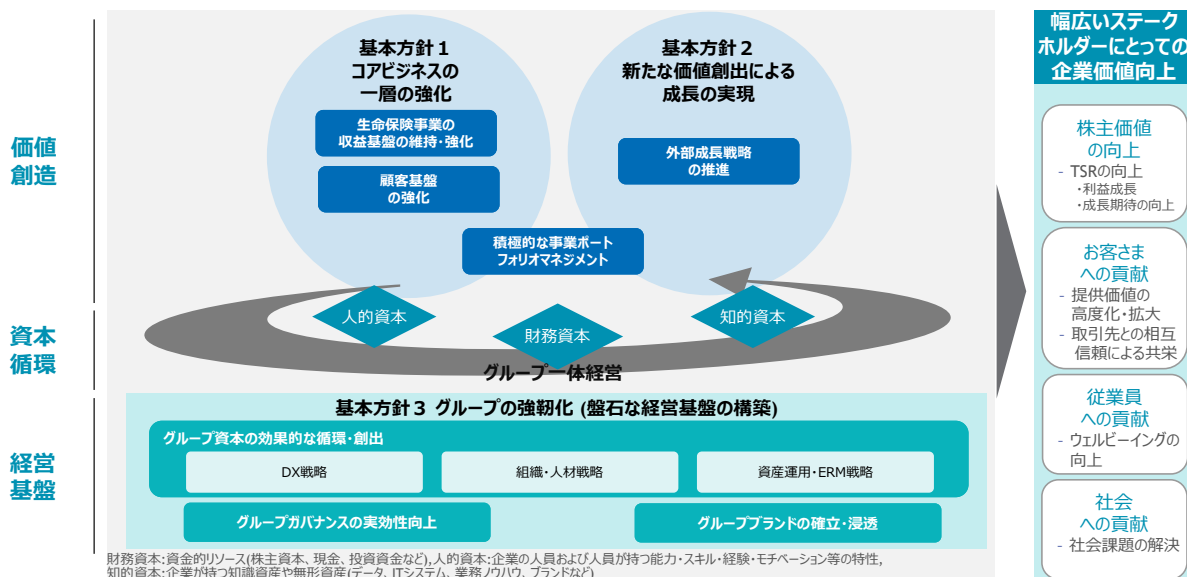
- 企業価値の持続的な成長を実現するために、さらなる価値の創出に向けた成長投資に取り組み。“グループ現有の強み”が活かせるような領域に注力する。
- 取組みにあたっては、グループの株主資本コストを超えるリターンが十分見込まれることを要件とし、規律を保ちつつ実行する。

基本方針 3 グループの強靱化 (盤石な経営基盤の構築)

- 国内人口、労働人口の減少により人材確保が困難となる中で、非連続な環境変化 (急激で予測が困難な変化) にも対応し、将来にわたって勝ち続ける企業となるために、生産性を高め効率的に付加価値を生み出せる強靱 (強く、しなやかな) グループへの変革を図る。
- AIフル活用を軸にしたDX戦略を起点に人材戦略等を有機的に結合させることで、これまで以上に踏み込んだグループ一体経営を推進し、財務資本に加えて人的資本等を循環させ、グループシナジーを創出する。

グループ成長戦略の全体像 | 資本循環による企業価値向上

- 各取組みを有機的に連動させ、グループ一体経営による資本循環を通じて企業価値向上につなげる



KPI

- 2031年3月期のグループ修正利益目標は2,300億円に引き上げ（昨年3月発表時点は2,000億円以上）
- 修正ROEは、株主資本コストを明確に上回る15%に設定。新契約価値は2,000億円を目指す
- 新グループ長期ビジョン（5年間）のターゲットとして、EPS成長率年率+10%以上、ROEV年率+8%以上を設定

グループKPI

	2026年3月期見込み	新グループ長期ビジョン 目標(2031年3月期)	
財務	グループ修正利益	1,460億円*1	2,300億円
	修正ROE	10.9%*2	15%
	新契約価値	1,680億円*2	2,000億円
非財務	お客さま満足度	—*3	4.0pt以上 (5段階評価中)
	自社GHG排出削減率 (2013年度比)	▲49.9%*4	▲75%
	従業員エンゲージメント スコア	—*3	4.0pt以上 (5段階評価中)
	多様な経験・属性を持つ 人材の確保・育成状況	30%	全内務職員の40%

新グループ長期ビジョン (5年間)におけるターゲット

EPS成長率*5	+10%以上 (年率)
ROEV	+8%以上 [前回7.5%] (年率)

*5 グループ修正利益ベース

↳ グループ複数社経験者数、グループ外への派遣・出向経験者数、キャリア採用者在籍者数

*1 26/3/17開示ベース

*2 25/5/15開示ベース

*3 グループ共通の新たな測定方法を制定・移行するため、着地見込みとしては"—"を表示

*4 自社GHG排出量削減率は2024年度実績を記載